

平成29年度 精華町議会報告会（実施報告書）

1 開催日時・参加者等

対象団体名等	日時	場所	参加人数(人)		
			男	女	計
①一般住民	平成29年11月11日(土) 14:00~16:00	交流ホール	8	5	13
②高齢者ふれあい サロン	平成30年2月2日(金) 14:00~16:00	議場 審議会室	1	30	31
③京都廣学館高校	平成30年2月14日(水) 14:00~16:00	議場 審議会室	21	2	23

2 出席議員(役割分担)

□ 第1部 議会報告会(平成28年12月会議から平成29年9月会議まで)

役割分担 団体名等	司会	報告者				その他 議 員
		予算決算	総務教育	民生環境	建設産業	
①一般住民	安 宅	青 木	山 本	松 田	森 元	受付・記録 ・写真等 ワークシ ョップ
②高齢者ふれあい サロン		塩 井				
③京都廣学館高校		「議会のしくみ」 佐々木				

□ 第2部 意見交換会(ワールド・カフェ方式)

〈 テーマ 〉	
①一般住民	これからの福祉!!
②高齢者ふれあいサロン	
③京都廣学館高校	住み良いまち・魅力あるまち!!

〈 進め方 〉

○テーマに基づき全員（議員も各班に2名参加）によるワークショップを行い、出された意見・提案・要望を班ごとに共有し、途中で各班のメンバーは別の班と入れ替わる。

○さらに最後は初めのテーブルに戻り、他の意見も合わせて共有する意見・提案・要望をまとめて、各班の中から発表者を選出し、まとめを発表した。

○発表後は佐々木議会運営委員長が講評した。

3 概要報告

① 一般住民（平成29年11月11日開催）

第1部 議会報告会

【 主な質疑事項 】

1. 政務活動費

質問・要望	開かれた議会を目指すなら、政務活動費のネット公開などの透明性が大事であるが、現状は。
当日の回答	すでに費目ごとには議会だよりやホームページで公開している。個々の領収書に関しては公開の方向で検討している。

2. 祝園西一丁目の水害

質問・要望	平成24年8月14日の集中豪雨災害以降、毎年水害が続いている。原因究明と改善策はどうか。また、状況を行政に訴えてほしい。
当日の回答	一般質問などで議員も追及している。行政からは排水溝に落ち葉などが詰まったことが原因のひとつと思われるので、対策を講じたと報告を受けている。今後も現状を調査し、建設産業常任委員会で追及していく。

3. 連節バスの運行

質問・要望	祝園駅周辺の住民は、生活圏に一般車の流入などで安全性が損なわれないかと不安でいる。地元説明や意見集約はどうするのか。
当日の回答	行政からは現在の駅前交通広場より北側に、一般車乗降場を設けるとの報告を受けている。また、公安委員会と調整がついた時点で説明会を開催すると聞いている。
質問・要望	駅前の改修については、住民が使いやすいようにお願いしたい。また、連節バスの導入により伐採されたメタセコイヤがあるが、自然・景観の保護を願う。
当日の回答	いただいたご意見は議員各自受けとめるとともに、委員会を通じて行政に伝える。

4. 安全・安心な通学路の確保を

質問・要望	連節バスの導入により一般乗用車の流れが変わる。祝園駅東・南区の子どもたちの安全安心な通学路の確保を願い、通学時間帯だけでも一方通行などの施策を講じてほしい。
当日の回答	通学路の点検後、順次改良している。一方通行の検討については、地元住民の反対もあり難しい状況にあるが、今後も解決に向けて取り組みを進めていく。

5. 狛田地区

質問・要望	山手幹線の開通はいつか。また、近鉄狛田駅の南側の延伸踏切の進捗はどうか。
当日の回答	山手幹線は平成30年3月に開通の予定。踏切は今年度中に行われる予定。

【 意見集約の概要 】

1. 行政は資金的なサポートを

地域で支える主役は町民であり、行政には資金的なサポートを望む。お互いに支えられる組織を作ることで社会福祉といえる。

2. 通学路の安全と中学校給食を

児童福祉については、子どもの通学路の安全確保と中学校の給食導入を求める。

3. 引きこもり対策と居場所づくりを

高齢者福祉は見守り、引きこもり対策と居場所づくりが重要である。ひとりで歩くことが重要なので、町内に休憩できるベンチの設置を提案する。また、ゴミ出しに対するサポート施策も望む。

4. 子どもの居場所づくりを

地域福祉の観点から子どもの居場所づくりを通じて、子ども・高齢者・若者の連携で地域の交流に繋がっていくのでは。

5. 廣学館高校の生徒が活躍

粕田駅前の活性化は、廣学館高校の生徒の力が大きい。今後も生徒の活躍を期待している。

6. 祝園駅前を福祉の発信地に

学研都市の玄関口は祝園駅なのに「明るいまちづくり・福祉に向けた取り組み」が進んでいない。特に、買い物に苦慮されている高齢者が増えており、地産地消の美味しい食事がとれる取り組みを進めてほしい。

7. 若者が住みたいまちづくりを

使わない家は早く処分し、空家を活用するなど若者がすぐ住めるような施策を。また、子育て世代の願いは、子連れで行ける場所が増えること。町の催しも子どもを連れて行けるよう方策を講じてほしい。

8. 利便性のよい療育教室に

療育教室は、もっとわかりやすく、明るい場所にしてほしい。

9. かのき苑の駐車場確保を

利便性のよい施設として、駐車場の確保は重要である。

アンケートでの意見

1. 粕田地区の開発

北の玄関口のまちづくりとして住環境と商環境を先ず整えることが肝心である。

2. 農免道路の歩道整備

農免道路は交通量が多く、スピードを出している車が多い。一方、通行者や電動車椅子、自転車の通行も多くとても危険である。早急な歩道整備が求められる。

3. 水害の対策

区画整理で新しくなった土地まで水に浸かってしまった。一年に何度も財産が脅かされており、今年度中に解決をお願いする。

4. 子どもは「宝」

子どもは国の宝、町の宝でありみんなで育てましょう。

5. 庁舎4階の活用

庁舎4階を有効活用し、住民の集まりなどに使用できるよう要望したい。

② 高齢者ふれあいサロン（平成30年2月2日開催）

第1部 議会報告会

【主な質疑事項】 特になし

第2部 意見交換会（ワールド・カフェ方式） 《テーマ「これからの福祉」》

【意見集約の概要】

1. コミュニティバスの増便を

桜が丘方面から寿大学（かしのき苑）に参加しようと思っても終わる時間にバスがなく、時間を持て余してしまう。1時間1本に増便してほしい。

2. 絆づくりを

小地域委員会を作り、自治会と協力して地域をまとめたい。

地域で見守りができる体制づくりをしてほしい。

高齢者を介護する家族の会をつくってほしい。

3. 後継者問題は切実

70代がボランティアで、80代が対象者という事が多い。ボランティアの高齢化は深刻だ。

ボランティアの募集をしても、なる人がいない。

ボランティアの後継者が育たない。担い手不足で、サロンのメニューなどマンネリ化している。

4. 交通手段の確保を

高齢者はサロンへ行くのも大変である。何とか送迎ができないものか。

買い物、病院難民が増えている。交通手段がなくて大変。

くるりんバスのバス停が遠くて利用できない。福祉施設に行くための交通手段がない。

5. 男性のサロン利用を

男性のサロン利用者が少ない。もっと多くのかたが利用してほしい。

サロンに参加するのは女性ばかり。男性を参加させる、集う方法がわからない。

アンケートでの意見

1. サロンの運営

サロンの行事はマンネリ化してきている。情報交換の必要性を感じられた。ボランティアの担い手、関わり方の問題など。

2. サロンまでの足の確保を

サロンで集まる集会所まで行く手立てがなく、行きたいのに行けない人が増えている。お年寄りですalonを生活の楽しみにしているのを奪うことになる。町で足の確保をお願いしたい。

3. サロンの事務事業評価

せっかくサロンにかかわる人たちが来ているので、そういうものについての「サロン」に関わる事務事業評価シートがあればよかった。

4. 町南部にも施設

高齢者が安心して暮らせるために、医療・健康・福祉をつなぐ施設を町南部にもつくり、細かく状況を把握し必要な手立てを打てるようにしてほしい。

5. 連節バス

連節バスは必要なのか。一時的だし、バスを続けていけばいいのでは。

③ 京都廣学館高校（平成30年2月14日開催）

第1部 議会報告会

【 主な質疑事項 】

1. 政務活動費

質問・要望	ひと月 7000 円の使い道は。
当日の回答	例えば研修に行くための交通費や宿泊費。住民に対しての相談会などの会場費や宿泊費。陳情に行く際の交通費などに使っているが、現状としては、自腹を切っている議員もいる。

2. 議会・議員の活動

質問・要望	議員が行政に意見を言ってそれが通ったという施策みたいなものがあつたりしますか。
当日の回答	最近の例では、予算決算委員会で、町のいろんなイベント、たとえば敬老会、子ども祭り、町民体育大会など参加者が楽しく満足しているかなどの評価を町長に提供し、改善されているという実績がある。

第2部 意見交換会（ワールド・カフェ方式）

《 テーマ「住み良いまち、魅力あるまち」 》

【 意見集約の概要 】

1. スポーツ施設やホール建設を

人工芝のグラウンドは、京都に1つしかないので、精華町に造って欲しい。

本校には、京都で2校しかないライフル射撃部もある。また、ボクシングの村田選手など世界的に有名な選手を輩出しているが、スポーツ施設が十分整っていない。本校はスポーツに力を入れている高校なので、スポーツ施設を充実してさらなるオリンピック選手の育成を目指して欲しい。

2. 駅周辺にコンビニや飲食店など

学校帰りに立ち寄れる商業施設を誘致して欲しい。

下狛、狛田にはお年寄りが多いが、買い物は祝園まで行かなくてはいけない。小規模でいいので、スーパーなど誘致すれば、高齢者の負担軽減になる。

3. 精華町の知名度を上げるために

村田選手をもっと精華町で推して観光大使になれば。

精華町の知名度がとても低いので、PR動画などを作って、町の紹介や宣伝をする。特産品のアピールや京町セイカのトートバッグなど配布するとよいのでは。

ふるさと納税の返礼品を魅力あるものにする。

町のシンボルとなるような精華タワーを建設する。また、宇宙エレベーターなどは。

季節ごとにイベントなどを開催し誘客する。例えば、夏のほたるイベントや冬のイルミネーションなど。イベントはしっかり広報することが大事。

アンケートでの意見

1. 精華町のアピール、観光客が増やす施策を

素晴らしい自然を残しながら、テーマパーク、映画・ドラマの聖地にする。テーマパークで修学旅行が訪れるようなまちに。また、アウトレットをつくっては。

2. 狛田にコンビニを

下狛駅あたりにコンビニができることを心待ちにしています。

3. グラウンド整備を

人工芝のグラウンドをつくってほしい。

アンケートでの設問

設問 あなたのまちで次回にある選挙では投票に行きますか。

- ・選挙に行く 20人
- ・わからない 3人
- ・選挙には行かない 0人

以上